

新年度を迎えるにあたり

「できることを精一杯」

P T A 会長 山本 浩二

平素より P T A 活動にご協力を頂き誠にありがとうございます。この度、P T A 会長を務めさせていただきますことになりました山本浩二と申します。よろしくお願いたします。全く未経験の私がこんな大役をお受けするに当たり、果たしてやっていけるものかと悩みましたが、多くの方が同じ思いの中で自分のためだけではなく、子どもたちのために活動をされていることを知り、またその方々に支えていただいているということを知り、私ができることを精一杯させていただきます。

P T A の皆様、子どもたち、学校のために、微力ながらできることを率先してまいります。

P T A 活動をさせていただいて、P T A の皆様は、衣笠中学校の校訓「友愛・明朗・協調」の通りに、本当に思いやりがあり仲が良いと



感じています。

この良い伝統を引き継ぎながら、親同士が更に仲良くなっていくことが、子どもたちの仲も更に良くなることにつながっていく、学年を超えての良いつながりになり、更には地域全体が良くなっていくのではと思っています。私自身今年出会えた保護者の皆様や先生方とともに、一つずつの行事を大切にやり遂げていき、次につながる P T A 活動にしていければと思っております。

まだまだこれからたくさんさんの P T A 行事があります。お忙しい中ではございますが、P T A 会員の皆様同士で声を掛け合いながら、積極的に参加して頂ければ幸いです。

今後とも P T A 活動にご協力の程どうぞよろしくお願い致します。

「気づきと行動」

学校長 山田 洋子

衣中生の頑張りや努力は、様々な場面でよく目にしますが、今回特に印象的な出来事として記憶に残ったことがあります。それは昨年度末の卒業式の片付けの時でした。式翌日の土曜日の朝に、体育館に部活動に来ている 1・2 年生の生徒達に片付けの手伝いを依頼したところ、快く返事してくれました。最初はこちらの指示を待ちながら手伝ってくれていましたが、徐々に自分たちで周りの状況を見ながら、自らすすんで次の作業を見つけて取りかかり、依頼してから、わずか 30~40 分ほどのたたたく内に、片付けが終了しました。よく巷では、様々な状況での「気づき」の大切さが言われるようになっております。

日本人が昔から大切にしてきた気遣いは、今や「おもてなし」という言葉に代表されるように世界中の人々を感動させています。その反面、気づいていても行動できないという人々が多いのも、現代のわが国の国民性の一つであるかもしれません。

今回の衣中生の行動を見て、素直で気遣いのできるこのような誇らしい生徒が育っている学校をうれしく思い、また今後も職員が率先垂範し、「気づき自ら行動のできる」生徒育成に努めて参りたいと身が引き締まる思いが致しました。

地域や保護者の皆様にも今後共、引き続きご協力ご支援をよろしくお願い申し上げます。



「生徒のパワーをエネルギーに」

教頭 小林 幸雄

このたび衣笠中学校にお世話になることになりました校長の山田です。

赴任以来、約 3 ヶ月が経ちましたが、衣中生のあいさつの時の声の大きさやその生き生きとした明るい笑顔、そして機敏な行動などに、こちらもうれしくなり、生徒達のパワーを感じながら、私自身も「よしっ、今日も頑張るぞ」とエネルギーをいただいているこの頃です。本校の今まで培われてきた伝統の「友愛・明朗・協調」を土台にさらなる進化、発展を目指して全教職員が一丸となって、取り組んでいるところです。

またこの度、学習指導要領の改訂により、新たな教育の方向性が示されようとしています。その中でこれからの教育については、「どのように学ぶか」という、学びの質や深まりを重視することも必要であるとされています。これまで取り組んできたことでもありますが、今後においても「何のために学ぶのか」という目的意識やその中で巡り合った友達との関わりを大切に、さらなる充実を目指して頑張っていきたいと思えます。保護者の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

